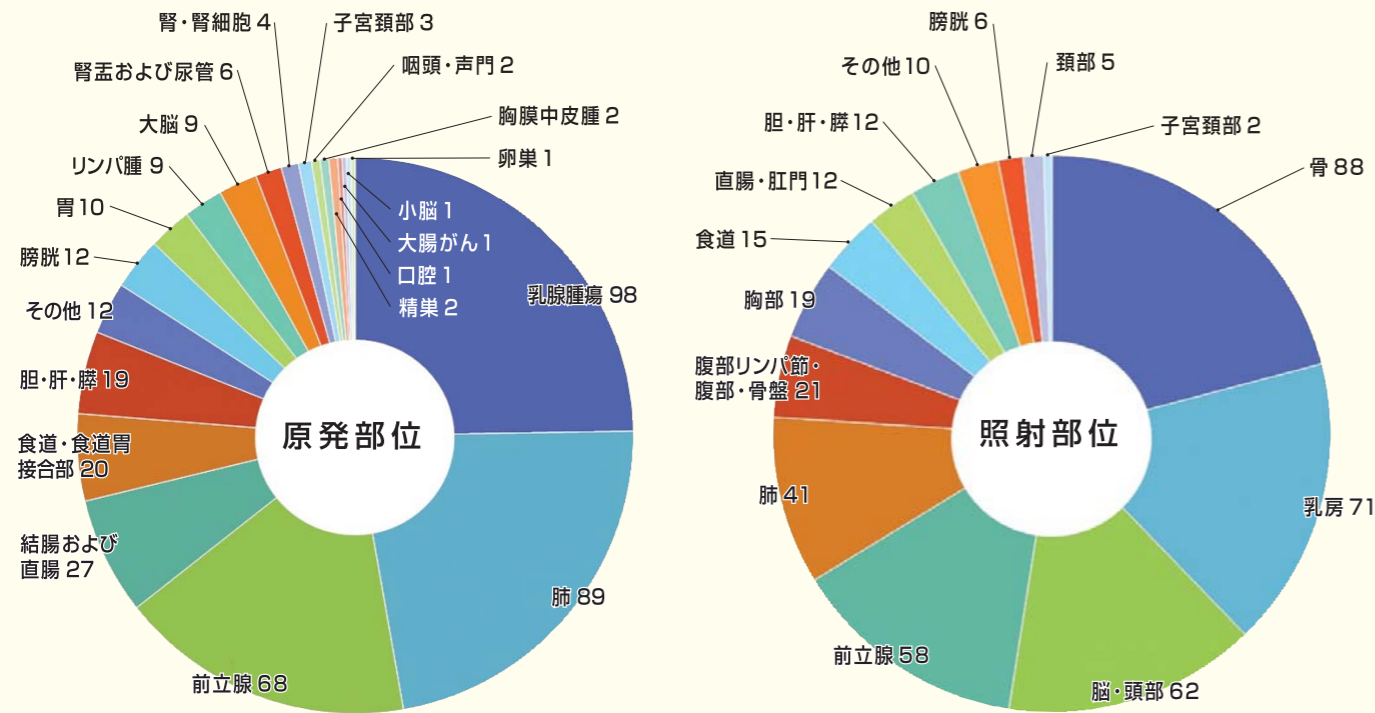


放射線治療実績

2013年10月1日～2014年12月31日までの放射線照射人数は396人でした。



お問い合わせ先 地域医療連携室 TEL.03-3967-1181(代表) FAX.03-5914-3222(直通)
 お問い合わせ受付時間 月曜～金曜 8:00～19:00 / 土曜 8:00～17:30

IMSグループからのお知らせ

医療・介護のことでお悩みはありませんか？

IMSグループイムス総合サービスセンターが、みなさまからの医療・介護のご相談をお受けいたします。詳しくはホームページをご覧ください。

来訪もしくは、お電話かホームページ(メールフォーム)よりお問い合わせください。

0800-800-1632 (代表) **03-3989-1141** (代表)
※「050」からはじまるIP電話および国際電話からはご利用いただけません。 受付時間/平日8:30～17:30 土曜日8:30～12:30(日祝・年末年始休み)

イムス総合サービスセンターのサービス内容や、IMSグループの最新情報をご覧ください。

<http://www.ims.gr.jp/gscenter/>

〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-21-11 オーク池袋ビルディング8F

板橋中央総合病院 地域広報誌
 PLAZA IMS(プラザ イムス) Vol.39 新年号
 発行:板橋中央総合病院 地域医療連携室
 発行日:2015年2月
 IMSグループ 医療法人社団明芳会
板橋中央総合病院
 〒174-0051 東京都板橋区小豆沢2-12-7
 TEL.03(3967)1181

— 理念 —
**安全で最適な医療を提供し、
 「愛し愛される病院」として社会に貢献する。**
 — 基本方針 —
 1. 急性期病院として1人でも多くの患者さまのニーズに応えるために全力を尽くす。
 2. 他の組織や施設と密接に連携してシームレスな医療を構築し、地域のニーズに応える。
 3. 接遇マナーとコミュニケーション能力を備えた職員を尊重し、かつ育成する。



プラザ イムス 新年号 2015/2月 Vol.39

板橋中央総合病院

「プラザ イムス」は、患者さま、ご家族のみなさまに院内やIMSグループの医療活動、病気に関する情報をお伝えするコミュニケーションペーパーです。



院長 新見 能成

ごあいさつ

現在、安倍政権下では財政再建を第一の目標に据えつつ社会保障制度改革が進められております。地域の医療提供体制は地域で決めるといった政策のなかで、病院と診療所はしっかりと機能を分担し、協力して地域で完結する医療ネットワークを築いていかねばなりません。その方向性において、一般の患者さまはまずかかりつけ医を受診し、紹介状をもって大病院に来ていただくことが求められており、当院を含め200床以上の病院では紹介状をもたない初診の患者さまから選定療養費をいただいております。緊急入院や手術などの急性期医療を円滑に進めるためとはいえ、地域に「愛し愛される」医療を展開してきた私たちとしては、患者さまのご負担増を心苦しく感じております。板橋中央総合病院は、その分診療可能な領域を拡大し、急性期のサービスを向上させて、地域のコミュニティに安心を届けるよう努力してまいります。

昨年は専門医の入職とともに新しく診療を開始した領域がございます。神経内科の泉本先生が入職され脳血管内治療を開始いたしました。また、呼吸器外科の高橋先生は睡眠時無呼吸症候群の診療を開始しました。呼吸器外科は4人体制の新チームとなり、気胸センターを開設しております。がんの診療では拠点病院である駒込病院との連携を深める方向で症例検討会を開始しました。放射線治療では順天堂病院との連携を構築するなかで、当院のサイバーナイフをご活用される患者さまが徐々に増加してきております。今後もこうした専門医の雇用と連携の構築により、がんの診療を充実させていく所存です。

一方、救急診療はこれまでどおりの、年間7,500件程度の救急車受け入れ実績をおあげしております。とくに、症状からみてどの診療科にかかったらよいかわからない患者さまにつきましては、独特の受け入れシステムを構築し、診療を円滑に進めるよう心がけております。4月には産婦人科で若干名、内科では大幅な増員を見込んでおり、マンパワー不足でこれまでご迷惑をかけてきた領域も徐々に改善するものと考えております。

研修病院としての評判も徐々に上がり、研修希望者が増加しております。「若い力で未来を創造する板橋中央総合病院」としてレベルアップを図ってまいりますので、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

C O N T E N T S

2p 気胸センターのご案内

3p フットケア外来のご案内
 ～平成27年1月よりフットウェア外来を併設いたしました～

4p 放射線治療実績
 IMSグループからのお知らせ

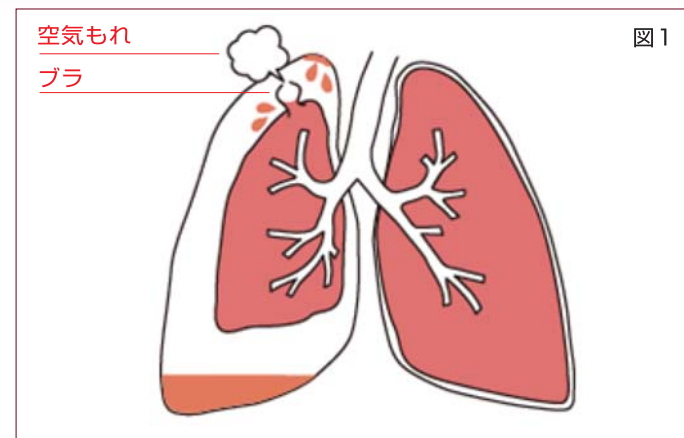
気胸センターのご案内

気胸センターを開設いたしました!

当院の方針として、“救急車を断らない”、“他院からの紹介を断らない”をモットーに日々診療を行ってまいりました。そのような背景から、「突然の胸痛」で発症する「気胸」の患者さまも多数受け入れ(年間約80名)、治療を行っております。その経験を基礎にさらに気胸の診療体制を充実すべく、この度気胸センターを開設しました。気胸は良性疾患であり、数日の治療で改善することも珍しくありません。しかし、状況によっては、命に関わる状況となることや治療に難渋し長期の入院加療を要する場合があります。当科で治療を受けられる患者さまに少しでも質の高い治療を提供できるように、日々努力してまいります。何卒よろしくごお願い申し上げます。

気胸とは?

胸壁と肺の間を胸腔といいます。この腔に空気が入ることを気胸と言います。気胸になると、肺がつぶれてしまったり、横隔膜や胸壁との連動がなくなるため、呼吸がつかなくなる場合があります。(図1)



気胸の分類

- 自然気胸***
普段健康な方に誘因なく突然生じる気胸
- 続発性気胸**
肺気腫など肺疾患に引き続いて発症する気胸
- 外傷性気胸**
胸部打撲などにより生じた気胸
- その他**
月経随伴性気胸など

非常に有効な治療法である内視鏡手術(腹腔鏡手術)について

自然気胸に対する手術は、通常、内視鏡で行われます。当科では、ワキに数mm~1cm程度の小さな穴を1~3個あけて、空気漏れの原因となっているプラ(=肺の弱い部分)を小さく切除し、何種類かある再発予防の工夫を追加しています。通常は術後2~3日後に退院します。

診療時間	火曜・土曜 8:30~12:00 / 木曜 8:30~12:00, 14:00~17:00
お問い合わせ先	呼吸器外科外来 TEL: 03-3967-1181(代表)

※緊急の場合は、下記までご連絡ください。
 月曜~金曜 8:00~19:00 / 土曜 8:00~17:30 地域医療連携室 TEL: 03-3967-4275
 上記時間以外 救急外来 TEL: 03-3967-1181

フットケア外来のご案内

平成27年1月よりフットウェア外来を併設いたしました!

フットケア外来とは?

近年、糖尿病や高血圧、喫煙など生活習慣病に基づいた全身の動脈硬化疾患が増えています。心臓の冠動脈に動脈硬化が起これば、心筋梗塞や狭心症、脳血管や頸部の血管の動脈硬化が起これば脳梗塞の原因になります。同様に下肢では閉塞性動脈硬化症(末梢動脈性疾患)となり重症になれば、足の壊疽を起こします。また、末梢動脈性疾患の約6割に脳血管障害または冠動脈(心臓)疾患を合併しているともいわれています。足の傷や壊疽がある重症虚血症という状態になると、大腸癌よりも予後が悪いともいわれています。末梢動脈性疾患および足病変の早期発見・治療が重要です。

このような症状でお悩みの方は、ぜひご受診ください!

軽度

- 足がしびれる
- 感覚が鈍い
- 足が冷たい、冷たく感じる
- 足の色が悪い
- 歩くと足が痛む(立ち止まると痛みはない)
- 指に変形がある
- 安静にしているでも足が痛む
- 傷が治らない、治りにくい

重度

※下肢静脈瘤でお悩みの方もフットケア外来をご受診ください。



受診の流れ

- ① 診察(問診、視診、触診など)
- ② 検査
・足関節・上腕血圧比(ABI)・皮膚灌流圧(SPP)
・血管エコー・血管造影・採血など
- ③ 治療・指導
・バルーン血管形成術・ステント留置術
・動脈バイパス手術
- ④ 必要に応じてフットウェア外来へ

フットウェア外来を併設いたしました! ※初診の場合、まずはフットケア外来をご受診ください!

足に傷があるのでどういった靴を履いていいのかわからない、治ったはずの傷がまたすぐに来てしまう、足の手術後で自分に合う装具を探している方はぜひご受診ください。

フットウェア外来とは?

下肢の潰瘍や壊疽のある患者さまは、サイズの小さい靴や踵の擦れる靴、つま先が脆くぶつくと足先に傷が増えてしまう靴など、残念ながら多くの場合その方にあった靴を履いていません。また、歩行障害や神経障害があり下肢の変形を伴うこともよくありますが、市販されている靴ではそのような変形した足には対応しておらず、傷のある部分を圧迫し続けていることも多いのです。創部に圧力のかかったまましていると潰瘍や壊疽はどんどん進行してしまいます。せつかく血管内治療やバイパス手術を行って血流を改善しても誤った靴を履いていると患部は治りません。フットウェア外来では、専属の義肢装具士が患者さま

一人ひとりにあった靴を作成しています。例えば、重症虚血肢により拇趾底に壊疽がある場合はその部分に圧力がかからないように除圧のインソールを作成し、圧迫により趾間に潰瘍を作らないように適切なサイズのシューズを選びます。正しい靴選びは創傷治療の助けとなるだけでなく、新たな傷を防ぐ効果もあります。様々な事情により足趾や下腿を切断になった場合でも、その歩行能力を出来るだけ保つように義足や装具を作成します。変形した足の場合でも適切な靴や装具を作成することで足の状態は大きく改善します。当院のフットウェア外来では、フットケア外来を担当する医師と協力し、同じ目線で靴・装具を作成することで、効率的に下肢の治療が行えるようになりました。ご希望の方はぜひご受診ください。

診療時間	木曜・金曜 14:00~17:00
お問い合わせ先	循環器内科外来 TEL: 03-3967-1181(代表)